夕刊 磐城新聞
五月二十四日發行
日曜祭日翌日休刊

眞人の位とは何か

上

日本姓名學東北支部長 鵜沼孝昌

吾人は現實の生活を地盤として實踐道德に於て見識を養ふことは其の本質である、私は姓名學に携はる故に私の生活の一面として姓名學を媒介に見識を養はんとする者である、それは恰も官吏として職を奉ずる者か其の職務を媒介として吏道をなし、實業や藝術に從ふ者が其の業を媒介として商人道や藝道を成すのと同一の志に向ふものである。玆に於て各々其の覺知を備へ一個の見識を衿恃する眞人であらねばならぬ、眞人の眞知の境は『我は我を見る』即ち、我の實直を見ることである『見る』は覺であつて、正覺は覺悟に依つて何人にも得られる、覺の境に入つた人の働きとして覺知が現はれ其の智によつて見識が生ずるのである、佛敎では眞知の月と云ひ、儒敎では明德と云ふて、この覺を表徵する、眞人はかゝる人である、そして眞心を以て誠を行ふ所謂眞人間こそ眞人の位を得たものである、故に繋辭上傳に曰はく『乾は易いを以て知なり坤は簡を以て能なり、易なれば則ち知り易し、簡なれば則ち從ひ易し、知り易きは則ち親み有り、從ひ易きは則ち功有り、親み有れば則ち可く久し、功有れば則ち可く大、可く久しきは則ち賢人の德、可く大なるは則ち賢人の業なり、易簡にして天下の理得られ、天下の理得られて、位を其の中に成せり』とある如く、かくて眞人の境地は開拓さるゝのである、故に覺的哲學はかゝる覺知や見識とを素材とし理智と知識とを媒介として他の個性の覺知と見識とを生ずる生の一面の道の意味を見て初めて生きるのである、所謂行爲が物に格ることに依つて智を致むる意即ち『格物致知』とはこの覺知を確現するのである

吾人は覺知に到達するには他の人の助力に俟つことが必要である、勿論覺知することは自己の自發力に依るものであるが、尚且つ他人の助力又は刺戟を要することをも亦爭はれぬ事實である『プラトン』も此の協動の原理を最も強く主張したのである、覺知は一言にして云へば精神的自由といふ一事に歸着するのである覺知を顧みずして徒に當面の現實にのみ沒頭する時は軈て精神的進步の行詰を來たすものである、故に之が暢達なる進展を望むに當つて哲學は生れるのである。即ち思惟そのものゝ動搖である『アリストテレス』の驚異である、この驚異を或假定の下に妥當と考へるのが檢察である、即ち假定を檢察するのが哲學である、かくして人生の誤謬は訂正さるゝのである、覺知と見識とに達するには實踐行爲を經ねばならぬ、實踐行爲とは自然的歷史的立場に於て與へられたる自己の個別的存在を地盤として自ら被動の立場を超えると共に作用者として誠の道に精進するのである

推薦短歌

新妻久滿男選

『摘草』　萩原たけ

○若葉光すが〳〵しくも照りはへて、草摘む人も見ゆれ春山

○草摘むと脊戶にいづればものゝ芽に、ふらこぼれ居る春のうらゝ陽

○おのづから心安らなり愛しくも、つぶらなる蕗の薹を摘み居て

○蓬草つみつゝ居りてほがらなり、遠山かすみわれに呼びかく

○片摘める里の小川は散る花を、乘せてせゝらぐ惜春の曲

平俳黎會

大和田水明選

猫の妻もとらす飯の乾きけり　武門

春曉や小鳥の聲のあとさきに

春曉や旅のつかれのよき目覺

春曉や煙のごとき小雨降る

ひかりゐる春曉の小松林

鹽屋岬

灯臺の勞務とあり春の曉　松堂

溫泉の香のたゞよふ春の夜明かな

うかれ猫するどき聲の濡椽に

春曉の山現はれて湖靜か

游偕樂園

珠寔 小野務平

烈公遺跡不湍淸
偕樂園中曳杖行
只有古梅新結子
園林綠處時鳥鳴

その日〳〵

5月25日 △楠正成湊川に戰死（延元元）△エマーソン生る（一、八〇三）△國際經濟會議日米豫備會商開始（昭和八）

○

快晴つゞきで、外を歩いてゐても汗がにじむやうだ。お三夜樣のお祭りも、こんどは二日がゝりで町の善男善女を喜ばせる――。

小說 誰が殺したか

(26) 國枝史郎作 龍造寺膽齋

第一の殺人（二十六）

『よろしい』

と三階の窓で、關屋警部補が竹の尻をつき放すと、空工場の屋根で、青山はその竹を逆にとり、尻の力をビルヂングと工場との間の石炭かすを敷いた地面へ立てその竹をつたわつて、する〳〵と地面へ降りた

青山はその竹をもとの、竹を澤山立てかけてある所へ持つて行つて、もと通り立てかけない前に

『その竹をこゝへ置いてくれ』

青山が今使用した竹を、その場所からすつと離して別にしておいて、警部補はちよつと持ち上げて地面についてゐる竹の尻を檢べた

さつきまで、乾いた土が少しばかり附着してゐたその尻の切り口に、石炭かすの粉末がジャリッとめりこんでゐた

『君も手傳つてくれ給へ』

と刑事を呼んだ

『この竹を一本づゝ』

警部補は、そこに立てかけてある二三十本の竹を指さして

『尻の切り口を見せてくれ!』

表通りへ拔ける路次の入口に立つてゐたもう一人の刑事もやつて來て、青山と三人で、かはるがはる竹を横に倒しては警部補の前にその尻の切り口を差出した

物音をきゝつけたのか、竹細工屋の亭主も出て來て何をするのかわからないがとにかく三人に手傳つた

全部で二十八本あつた。

切り口にはどれもみんな、乾いた土が少しばかり付いてゐたが、その中で、たつた一本だけ、さつき青山が使つたのと同じやうに石炭かすの粉末が、潰した樣にめりこんでゐるのがあつた

警部補は雀躍りするやうに喜んで

『これは借りて行くぜ、竹屋さん』

『へい』

竹細工屋の亭主は、何が何やらわからなかつたが、警察の御用なので、たかしなことをするものだなと思ひながら

『どうぞ』

と云つた

『關屋さん』

青山は、警部補の眼の合圖で、二人の刑事が兩わきに立つて歩き出したのに氣がついて、泣き出しさうな顏をした

『僕、歸つてもいゝんでせう?……』

『僕、歸つてもいゝんでせう?……』

『支那料理の約束があるぢやないか、ほしくないのかい』

『それはいゝけれど』

『手傳つて貰つたついでにもう少しの間つきあつてくれ』

『署へつきあふのはいやですせ、おごつておいてまた留置場へ抛りこんぢまふんでせう』

さう云つてゐるうちに、一人の刑事はもう表通へ出て圓タクに手を擧げてゐた

青山は、關屋警部補の推理の實驗者に使用されたのに過ぎなかつたのだが、その結果は、今まで、さして疑つてもゐなかつた警部補に、却て疑ひを抱かせてしまつた

智慧をしぼつて曲藝をして見せたゞけ青山は馬鹿を見たやうなものだつた

自動車はある支那料理店の前にとまつたが、依然として刑事が二人そばについてゐるし、御馳走がすんだらまだ留置だ、と思ふと胸がつかへて青山はすつかり食慾を失つてしまつた

創作 猿飛佐助

木津茂太郎

五

猿飛佐助は、お隼に戀ごゝろを抱きはじめた。自分を助けて呉れた娘に。

お隼の美貌が、――誰よりも美しいと思へる、[illegible]娘には珍らしい程、美しいことが、佐助の心を魅すのであつた。透き通るやうに白い頰や黑水晶のやうな眸は、佐助を捉へるに充分であつた

とは言へ、お隼は娘だつた。小鳥のやうに朗らかで神さまのやうに純眞であつた。しかし、時には艶冶であつた。のみならず、佐助に對して技巧を用ひた。それは素晴らしくコケッチッシユだつた

さうした技巧を感じる時佐助は多葉粉を吸ひながら穴の明くほど、お隼の顏を見つめるのであつた

日が行つては新らしい日が來た。――

佐助はお隼に戀してゐたが、お隼はそれを知らないのかも知れなかつた。知つたら何んとか話もあつたらうが、――殊によると、お隼も佐助を好きだと言つたかも知れなかつた

三好淸海は快活であつたふざけてばかりゐた。佐助の事など一寸もお構ひなしであつた

だから、佐助に取つて、三好は何んの役にもたゝなかつた

忍びの術も駄目だつた

そして、お隼が嫁に行く日が來た。――緣談は佐助たちがこの家に來る以前に既に極つてゐたのである

六

紫苑の花が咲いてゐた

空には星が光つてゐた

地上には白い夕霧が夢のやうに棚引いて、何處かで念佛の鉦の音がしてゐた

佐助は所在なささうにねころんでゐた。彼等の部屋にあてがはれた汚ない離れの一室である

草双紙を讀んでゐた。時々、文字が見れなくなつた涙がたまつて來るのである

『佐助ともあらう者が泣虫になつたものだ』

さう自分に云つて見た。が、どうして泣きたいのか佐助自身にも判らなかつた

草双紙を讀み進んだ

○…………

○…………

新車御披露

素晴しい乘心地の！

三十五年式流線型新車が參りました。

是非御試乘御利用の程を御願申します。

平 二

三井タクシー

電話六八五番

花柳病の豫防と治療

感染
惡化
再發
徹底的治療が肝要!!

陽春期を迎へて!

人生の最大不幸は花柳病である、これが一度感染した爲めにそれ迄圓滿で樂しかつた結婚生活も破壞し猜疑の悲慘事を數限りなく生んでゐる。花柳病は罹患者自身ばかりでなく、周圍の人々にとつても實に不快なものである。從つてこの惡疾の治療藥も頗る多く、安心ならぬものがあり、これ等を試みても結極源變に終るのが常である。

あれこれと迷はずにこの陽春期に際し、花柳病の豫防と治療に於ては長き歷史と最新の學理に基く研究によつて完成され、世に絕大の信用を得てゐる本社の最優秀藥に依つて徹底的治療が肝要である

花柳病豫防藥

ホシワクロ

豫防藥の元祖とも云ふべく世に「ホシクロ」の名を稱へて
類似品あり これにても其の眞價を知らるべし

.10 .20 .50 1.00 2.00

麻病內服藥

ホシゴノール

主治效能――急性慢性淋疾、尿道炎、膀胱炎、膀胱カタル

1.00 3.00 5.00

麻病注入藥

ホシズルファミン

主治效能 急性慢性の淋疾、尿道炎、膣炎、膣部糜爛

.50

黴毒內服藥

ホシサヨリン

主治效能 黴毒、痔毒、淋毒、潰瘍、黴毒性橫痃、黴毒性ロイマチス

1.00 3.00 5.00

花柳病豫防藥

ホシペツセル

1.00

全國ホシチエンストアーにてお求め下さい

〔花柳病の豫防と治療〕に關する小冊子あり ホシチエンストアーになき時は本社營業部宛御申込あれば遲時送附す

ホシ胃腸藥

クスリはホシ

20 .50 1.00 2.00

星チエンストアー支部

ホシ藥舖

平町三丁目三〇
電話四二九番

…販賣店…

平町
五丁目 山野邊藥局
四丁目 小野藥局
同 關內藥局
二丁目 堀藥局
同 西村屋藥局
一丁目 水野藥局
同 大平屋藥舖
古鍛冶 阿康藥局

湯本町
石畑 岩瀨屋藥舖
三函 峯藥舖
町裏 菅波藥局
三函 白石藥舖

小名濱町
米野 寶屋藥舖
中島 白石藥舖
中町 小川藥舖
西町 松原正美

江名町
喜久屋藥舖

植田町
菊田屋藥局
安田屋藥局
金成五郎藥局

海軍から表彰される 四十年勤續の老書記
來廿七日晴の記念當日 榮譽に輝く
勿來町市川忠八氏

日露戰役海軍記念日は間近かに近づいたが、而も本年は日露戰爭三十周年に當り日清戰役四十周年にも相當し意義深き年であるが、海軍ではこの意義深き年を記念するため二十七日日清、日露兩役に關係ある部內者並びに海軍々事に貢獻し特に功勞大なる部外者に對し表彰する事になつた、東北六縣關係の部外該當者二十二名中縣下では五名、郡下では左記一名である

勿來町書記 市川 忠八

曠古の大戰記念日に晴の表彰を受くる勿來町書記市川忠八氏(六二)は勤續四十年の永きに及び途中日清戰役に出征した勇士であると

夏井記念行事

青年團では當日春季總集會を開き十年度豫定事業を協議、同小學校で記念訓話後全校生徒の强行軍を行ふ

。。。。平第二校 既報の如く剛健會を催し四年以上は終了後午後零時半からドッチボール競技會を催す

早くも一周忌 島田 增田 兩少佐を追悼
今日江名の墜落現場で

横須賀海軍航空隊增田、島田兩航空少佐の殉職一周年慰靈祭は既報の如く今二十四日午前十一時から江名町水綺地內の墜落現場に建立された殉職碑前に於て遺族を初め同碑寄進者たる園田男爵及海軍將校、地元青年團、小學生等參列執行されたが、海軍機二臺が飛來上空から悼意を表した

鮫川堰第二期起工
禾穀豐穰の八百餘町步 甦る地方灌漑民

郡南方部二町六ケ村の水田約八百餘町步を潤す上遠野村地內鮫川堰第一期工費四萬二千圓の水路工事は既報の如く終了したので同組合では目下同村灌地內大隧樋を除く第二期工事に關し縣當局と打合せ中であるが大體十一萬の巨費を投じ來月中旬頃から着工するので關係灌漑民は何れも大なる期待を繋いでゐる

四家少佐有功章を受く

平町職業紹介所長、在鄕軍人平分會幹事退役陸軍步兵少佐從五位勳四等四家久米治(鹿島村出身)氏は昨廿三日閑院總裁宮御殿に於て在鄕軍人最高の榮譽たる第十一回の有功章を御授與された 午後二時總裁宮殿下には式室に御臨場、鈴木會長開始の旨を言上、呼名により御前に進み有功章を拜受し寫眞撮影御庭を拜觀の後、御茶菓を賜はり會長の挨拶ありて解散した

。。。。。資力算定委員會 平町特別稅戶數割資力算定委員會は昨二十三日から今二十四日も續行、近く本會に附議される筈

。。。。。豐間戶數割稅額 豐間村の今年度特別稅戶數割は全戶數六百九十戶中賦課戶數五百五十戶で同村大敷網が千二百圓を支出してゐるので下級者は負擔も輕くなつてゐる

心配は天候丈け
桑葉の伸びも良く 期待さるる今春繭

高値豫想に蠶繭家を喜ばせてゐる郡下の春蠶は目下二齡位に進み來月初旬頃上簇九日頃から收繭出廻る見込で霜害も既に安全圈內に入り桑葉の伸びも一般に良く今後はたゞ天候の如何に在るので最近の平蠶業取締支所では係員總出で冷害濕氣に對する警戒と多收の督勵を加へて居ると

高久の鈴木一家 —再た親子相食む—
血で血を洗ふ訴訟沙汰

健訟家で知られた高久村大字下高久字館の內一二七農鈴木太吉(七二)の長男江名町大字江名字北町湯屋業龜之湯事鈴木定彌(五六)に係る私文書僞造行使、公正證書原本不實記載詐欺事件は來る二十八日平區で中島判事係り、淸田檢事關與公判開廷されるが 定彌は昨年六月中一家亂鬪事件で弟房吉と共に各罰金六十圓を言渡され一と先づ納まつたが、一家の暗鬪が煩はしく前記に移つた後に太吉が老後に備へておいた同村下高久字中川の田二畝外十二筆を定彌の長女ツネ(二六)に贈與した如く登記して了つた事が判りお手のもの告訴に及んだものである

科學は惡も挫ぐ
否認する犯人を透視鏡で看破
兜を脫いだ古鐵泥棒

去月二十七日頃の早朝平町新川町古物商遠藤誠さん方を訪れたモヒ患者の中年男が古鐵約二十貫を賣りつけんとしたが怪しとにらんだ誠さんは此の男に朝食を振る舞ひ直に平署に密告するやそれと感づいた男は便所行を裝ひその場から風を喰つて逃走したのでモヒ患者を手がゝりに平署で內偵中の處昨二十三日午後六時頃城山地內を徘徊するそれらしいのを發見引致取調べた結果、此奴は平町六間門無職眞木茂(三五)で遠藤方を訪れた事や前記古鐵は他から讓られたものだと否認してゐたが證人の遠藤さんを呼び例の犯人透視鏡で調べた結果、同人と判明したので目下追究中であると

軍艦那珂便乘抽籤 近く平町で執行

軍艦那珂が廻航し來月十五日小名濱で行はれる海上簡閱點呼に平署內の參會者は百名であると、尚平町では近く縣からの通知により便乘者の抽籤を行ふ筈

生きては居れぬと泣き喚く浮氣娘
肉慾 遊戲 破綻
男の正体に還らぬ後悔

昨二十三日午後六時頃平町六丁目旅人宿熱心湯事件スセ方に『四倉町本町官吏鈴木三郎並に妻トミ子』と稱して泊り込んだ怪しの男女を平署で取調べると

右は四倉町本町生れ當時仙臺市田町二大日本拳鬪俱樂部書記長谷川武次郎(三六)自稱同市南鍛冶町某高女卒某三等局長の長女庄司登美子(二五)で、武次郎は去月中旬頃から女の美貌に目をつけ一昨二十二日夜外出した處を甘言で誘ひ出したものと判明目下留置取調中であるが、女は初めて知つた武次郎の正体に驚き『親達に合せる顏がないから死んでしまひます』と泣きくずれてゐた

農を嫌つて惡の道へ
五犯男の辿つた途

住居不定無職茨城縣多賀郡關本村關本生れ窃盜前科五犯鈴木義夫(三六)が去る七日午後十一時頃平潟小學校に忍入りレインコート帽子等(價格十七圓)同十四日午後十一時半頃大津港修築工事平潟工場係員詰所に忍入り中古自轉車、雨合羽、郵便切手等(二十九圓餘)同十一日午前一時頃勿來町九面飲食店大友健吉方に忍入り白米三升その他(一圓半)を竊取した事件は今二十四日午前十時より平區で香西判事係り、白水檢事關與公判開廷、求刑通り懲役三年を言渡された

同人は農業を嫌ひ上京し飲食店等に奉公中遊びを覺えて惡の道に入り竊盜罪一年半の刑を終へ去る一日水戶刑務所を出所、東京に就職口を求めたが望みを失ひ鄕里に戾り眞面目につきゐはれぬ所から自棄を起し再び惡を働いたものであると

一圓廿錢の事で哀れな親子心中
死体となつて池に浮ぶ

內郷村大字綴字堀坂六坑夫爲次郎妻峰村ハツ(三八)は一昨二十二日午前三時頃二男高男(二)を背負つて無斷家出したので家人が八方搜査中昨二十四日湯本町地內朴澤池に溺死体となつて浮いてゐるのを附近民が發見した

平署で取調べの結果、同人は多少精神に異狀を呈してゐたが家出の前日附近へ買物に出掛ける途次一圓二十錢在中の蟇口を失くしたのを苦にして母子心中を企てたものと判明した

前美友會員遠藤君入選

前美友會員遠藤正三氏が目下上野東京府美術館に開催中の中央美術展覽會に出品の『工事場』は入選したと

。。。。平局內野球 明後二十六日午前九時より第三校々庭に於て行ふと

病と妻に虐まれ子を殺して縊死
大野村農家の悲劇

大野村大字山木屋字横谷地五七農後藤末太郎(三八)は數年前赤井村後藤カネヨに入婿、四才一才の二兒を擧げたが昨年來肋膜を患ひ臥床の身となるや近所からは肺病と嫌忌され悲觀してゐたが一昨二十二日午前九時頃妻のカネヨが末の子を伴れ無斷家出した所から極度に世をはかなみ同夜十時頃自宅に於て木綿腹卷で長男光男を絞殺、次いで別室の梁木に兵兒帶を吊り縊死を遂げた、昨二十日午後カネヨの兄嫁某が馬を借りに來て發見其筋に訴へ出で、鶴岡

後家を傷く
手荒な家主老爺

平町古鍛冶町七大工職志賀萬次郎(六二)は一昨二十二日午後六時半頃飲酒の上店子の後家住宜職杉本コウ(三三)方を訪れ些細な事から口論をなしコウを背後からつき倒して前齒二本を折つた外右肩に全治二週間の傷害を負はせ平署に檢擧された

。。。。。漁業組合長會議 縣主催の郡下漁業組合長會議は今二十四日午前十時から平國体事務所に開き取締法規約改正に伴ふ注意並に指示があつた

平軍人分會新役員決定

藤田榮助氏の辭任に伴ふ在鄕軍人分會の役員改選は昨二十三日午後七時からマルトモに開き藤田氏の指名推薦で左の如く決定、尚監事小泉英次氏は家事上の都合により辭職し他あると

た

(分會長)藤井一(監事)佐藤伊太郎(副分會長)大間喜繁、江尻喜作(理事)大塚八郎、猪狩正茂(顧問)藤田榮助、小泉英次

江名海岸埋立着手

小名濱町小野晋平氏企業にかゝる江名町大字江名海岸埋立工事設計は愈々完成したので去る二十一日から本格的工事に着手した

。。。。。郡女教員總會 來月五日午後零時半より平第二校講堂に開かれるが千葉同校長の講演、古川擔任縣視學の訓辭、會員の意見發表その

喜の華會演奏會 廿六日開催

平町鈴木佐喜勇社中の第七回喜の華會演奏會は明後二十六日午後一時(第一部)同六時(第二部)よりマルトモホールに於て開催されるが今回は社中梅原佐喜華、今村佐喜信兩高弟の教授昇格披露を兼ねての催しで一層の人氣を唆つてゐる

(第一部)『六段』今村佐喜信外 童曲『竹の子』『螢』鈴木都外『谷間の小車』梅原佐喜華外『初便り』小山田禮子外『新高砂』梅原道子外 童曲『アヒル』『ひな祭り』平松和子外『千鳥』青天目照子外『臼の聲』織田芳枝外 童曲『文福茶釜』『福壽草』根本信子外『櫻狩』黑澤不二子外『三つの景色』生天目幸子外『樹枕』梅原道子外 童曲『おさる』『傘舞臺』渡邊ツネ子外

(第二部)童曲『さくら』『文福茶釜』平松美代子外『谷間の水車』梅原佐喜華外『初便り』小山田禮子外『近江八景』海老根京子外『山の上』安藤蓮子外『傘舞臺』今村佐喜信外『春の曲』平松ヨシ子外『鐘ヶ岬』黑澤不二子外『花くらべ』大越久仁子外『ひな祭り』今村佐喜信外『落花のほまれ』生田目幸子外『蝶の夢』今村佐喜信『長恨歌』梅原佐喜華外『七小町』梅原佐喜華

○…………

六七丁目青年武道練習

平町六七丁目青年分團では團員約三十名の心身鍛錬を目的に今般劍道部を設置道具二組を購入して近く同町稻荷神社の境內で練習を開始することになつたと

玉川村政府米拂下決議

玉川村では飯米欠乏對策として政府米百二十石を拂下げるべく小學校基本金二千圓を流用する外不足額千圓を借入れ、合計三千圓の拂下資金を一昨二十二日の村會で可決した

。。。。。試掘許可一束 宮城縣桃生郡前谷地齊藤株式會社出願に係る山田村四十萬八千坪。又東京市豐島區池袋二丁目安田豐太郎氏出願の田人村四十二萬九千百坪の石炭試掘は此程何れも許可になつた

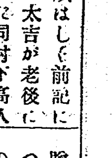
。。。。。內郷兒童見學 內郷村各小學校尋常六年卒業生約七百名は來月四日綴發午前六時五十分上りで東京方面の修學旅行に出發する

。。。。。古河名紡野球 好間村古河炭鑛對名古屋紡績郡山工場の野球戰は來二十六日午前十時から同坑球場で擧行

。。。。。湯本の賭博へ罰金 湯本町天王崎四五青物商富岡賀外五名に係る賭博は今二十四日平區から左の如く夫々略式命令があつた

罰金百圓—湯本町天王崎一一五食肉商前科一犯小山吉廣(四七)同四十圓—富岡賀(三七)同榮田四七青物行商前科一犯島上榮市(三五)同二十圓—同天王崎四七役場書記柳田輝雄(四八)小名濱町定西六五青物商鈴木金彌(三二)

艶罪黑白



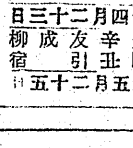
◇乳白色のシャンデリアから柔かい光が室一面に流れてゐる本店か谷口の大廣間へ、一軒一人宛のつぶ選りが、四邊を拂つて入つて來る光景は◇さながら必勝の意氣なびうに現はした野きゆう選手が、ファンから急霰の拍手を浴び乍ら堂々ダイヤモンドを一周する壯觀にも等しいが◇之を一その事彼女らが辷り込みなやる時の樣に肉じゆばんのユニホームでやつて呉れたら、御祝儀の圓助を倍にされたつて惜しくない◇それに少し虫の良い注文かも知れぬが、地の薄いズロース位は我慢するとして成る丈け曲線美をうれらせ乍ら、妙な腰つきで後ろ向きにキャッチの實演でも見せてくれろつて。たれだよせよ◇海の無い港。大平町のカフェーには『願はくば明鏡となつて嬌面を分たん、觀羅となつて細腰に纒はばん』てな美女も無いではないが◇中には隨分思ひ切つた三平二滿ものになると『お切りしませう』なんて料理を犬に食はせる樣に剝んで了うのなんかもあるさうな。

二十五日

(小名濱測候所調査)

日出 四、二六 月出 日沒 六、四二 月沒 前一一、〇一

滿潮 前七、四〇 後一〇、三〇 干潮 前一、二五 後三、一五



舊四月二十三日 新五月二十五日 土曜 辛丑 友引 成 柳宿

部外定總帶 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 午前は迷ひに入るも午後は晴々となるべし▲二黑 運氣良き樣にても物事輕卒に走り易き日▲三碧 氣を荒立つ時は凶に走る 辛抱勤士は見合▲四綠 午前は大丈夫なれど午後は萬事手控へすべし▲五黃 心中動搖して迷ひを生ずる事あればさせつす▲六白 金運あり目上の助けあり事業次第に向上す▲七赤 多少の苦は免れざれども大體成功の日なり▲八白 根氣强く働けば貧乏神は忽ち逃げ出すべし▲九紫 確く信義を守る時は貴人の信用を受くべし

廣告 新田町の おでん かん酒 榮ちやんで (十二、三の小年)至急募集

大和田醫院

五月人形特價賣出し 御座敷 武者人形 御陣道具 布鯉類 平町三丁目 金太郎玩具店

初夏の洋服賣出し
爽やかな初夏の御召料に內外の新製優秀生地のボーラ單背廣が取揃へました
特價品 鼠セル單折襟上下 八圓より シルクボーラ單折衿上下 九圓五十錢より 上等シルクボーラ三ツ組 十五圓より
◉中、商學校の國防色制服を取揃へました
國防色制服上下(六號—三圓、七號—三圓十五錢、八號—三圓三十錢)
黑ギャバ三圓より、昭和セル上下三圓より
中學上等霜降小倉上下二圓二十錢より
(初夏向きの變色折襟上衣、又實用向き上衣澤山取揃へました)
外に霜降、小倉服、又男女小供服が澤山取揃へて有りますから散步がてら一度信用堂洋服店へ御立寄り下さい……。
信用堂洋服店 平町三丁目一〇

御參詣團体募集
一、柳津虛空藏尊(猪苗代湖=白虎隊廻り、自動車賃往復 御一名金二圓也) 申込締切五月三十一日、出發六月一日午前四時
二、成田山(宗吾樣=笠間稻荷廻り、自動車賃往復)(御一名樣金二圓五十錢) 申込締切六月三日、出發六月四日午前三時
三、日光(笠間稻荷廻り、御一名樣 自動車賃往復金二圓五十錢) 申込締切六日五日、出發六月七日午前一時
定員は各車共二十二名
定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス
尙御希望ニ依リ各種團体モ御相談ニ應ジマス
主催 尼子遊覽部 電六四〇番

今年もお馴染の横濱植木會社特選のハナのタネが參りました。何れも輸出向優良種子です
西村屋藥局 種子部 中2・電3・